

洲建 第 140 号  
平成20年10月31日

国土交通省道路局長 様

洲本市長 柳 実



今後の道路行政についての意見・提案の提出について (回答)

記

上記の件について別紙のとおり回答いたします。

## 今後の道路行政についての意見・提案

### ①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

兵庫県洲本市

道路は市民の生活や経済・社会活動を支える重要な社会基盤であり、活力ある地域づくり、市民が安心して暮らせる社会実現のために必要不可欠な根幹的施設です。しかし、本市においては平成の大合併により新市として新しく出発しましたが、地域間を結ぶ道路の整備、広域的な道路ネットワークの整備が十分とは言えません。さらに、高度経済成長期に建設された多くの道路構造物が更新時期を迎え、今後その維持補修費が増大してきます。こうした中、住民の安心安全、地域産業の活性化、文化の発展交流に必要な道路整備・維持補修に必要な財源確保と地方への配分割合の増大を要望いたします。

○現状

1. 神戸淡路鳴門自動車道は、淡路島を縦断し阪神と四国を結ぶ主要幹線道路として重要な役割を果たしていますが、割高な料金負担を避けて特に大型貨物自動車一般国道 28 号、県道福良江井岩屋線を通行しています。
2. 淡路島は島であり、幹線道路は神戸淡路鳴門自動車道と一般国道28号のみとなっており、面的に連結できる道路が脆弱で、災害時等の道路網の整備が十分ではありません。

○課題

1. 大型貨物自動車の通行による騒音、振動、交通混雑、維持補修費の増大が大きな問題となっています。このことから、通行料金のより一層の低廉化が求められています。
2. 現在事業が進んでいます一般国道28号洲本バイパスは、交通混雑の緩和と交通安全の確保のため早期完成を強く待ち望んでいます。また、今後発生が予想される南海地震等の大規模災害発生時には、緊急輸送路としての役割を大きく担うものと考えています。さらに、平成25年に完成予定の新県立淡路病院へのアクセス道路として全島民の生命線となる道路と考えています。

淡路島内の1市10町は、平成の大合併により3市となり、淡路島の広域的交通ネットワークの整備による島民の利便性の確保、安全安心で災害に強い道路整備が重要です。こうした中、淡路島の中央に位置する洲本市としては、生活基盤の広域化や公共施設の広域的利用にも対応し、災害時に備えた複数ルートの確保、さらに島内外からの来訪者への利便性を図る道路整備を推し進めていきます。

